

環境適合製品の開発 環境適合製品を生み出すしくみ

現在、日東電工が生産、販売している製品の数は、約1,400類、12,600種。幅広い産業分野でご採用いただき、多くの消費者の皆さまに日夜お使いいただいています。当社は、こうした製品が環境に及ぼす負荷の低減も、環境保護活動の大きなテーマであるとの認識から、環境適合型製品の開発と普及を進めています。

定義と基準

環境適合製品の定義

当社は1997年のISO14001認証取得を機に、独自の製品アセスメントを策定。製品開発のガイドラインとして運用してきました。製品のライフサイクルに応じて環境影響評価を行い、以下の4点を環境適合製品の条件としました。

1 生産時に環境負荷の少ない製品

溶剤削減製品や
溶剤代替製品など

2 顧客や地域の環境保全に寄与する製品

鉛フリー製品、
ハロゲンフリー製品など

3 使用時に環境負荷の低減に寄与する製品

大気・排ガス浄化製品、
排水浄化製品、省エネ製品、
省資源製品など

4 廃棄時に容易にリサイクルできる製品

はがしやすい製品や、
燃やしても有害物質が
出ない製品など

環境適合製品の新たな評価基準

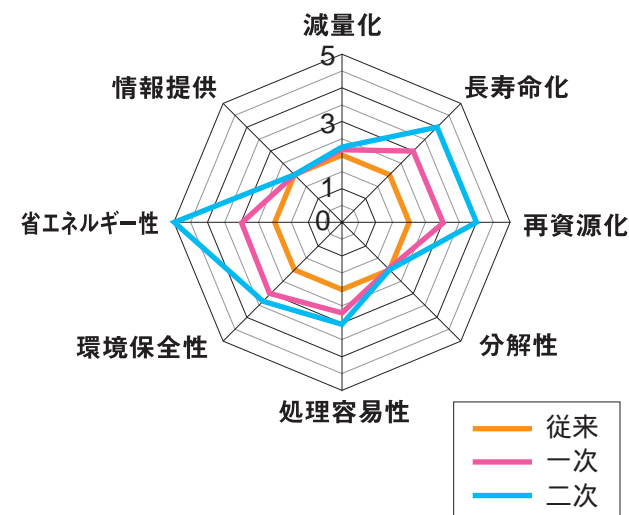
より定量的、定性的な製品評価アセスメントを確立するため、2001年度からは新しい基準に移行して環境適合製品の開発に取り組む計画です。これらの基準をクリアした製品は今後当社ホームページにも掲載して、広く普及を図る予定です。

■ 新・製品アセスメントの実施例

8つの観点から製品の環境適合性を審査し、その評価に基づいて開発を進めます。各項目については現行品を2点とする5点満点で採点し、総合評価が3点以上の製品を環境適合製品と認定。評価は、1次(開発に着手する段階)と2次(生産部門に移管する段階)の2度にわたって行います。

総合評価

	従来	一次	二次
減量化	2	2.2	2.3
長寿命化	2	3	4
再資源化	2	3	4
分解性	2	2	2
処理容易性	2	2.8	3
環境保全性	2	3	3.3
省エネルギー性	2	3	5
情報提供	2	2	2
総合評価	2	2.6	3.2



製品づくりでの取り組み

研究・開発

本社及び各事業部(門)の研究開発部門では、「環境対応の技術開発により、ビジネスチャンスを拡大する」という観点から、溶剤削減技術や脱鉛・ハロゲンフリー技術などを確立し、環境負荷低減に寄与する製品開発に取り組んでいます。



■光学顕微鏡による粘着テープの観察



■電気伝導評価

製造技術開発

生産技術開発センターと各事業所の生産技術部門では、高速化・高精度化など生産性向上の技術開発とともに、製品開発の初期段階から研究開発部門と連携をとって量産化技術の確立を行っています。また、前述の「産廃原価低減に関する調査プロジェクト」で得られた結果をもとに、産廃原価の低減に向けた技術開発に取り組んでいます。



■無溶剤型粘着テープの試作機



化学物質管理

使用している化学物質について、MSDS(化学物質安全性データシート)をもとに、法規制情報を中心とした化学物質情報データベースを構築し運用しています。また、すべての化学物質について使用開始前に事前審査を行い、適切に管理できることを確認してから使用しています。



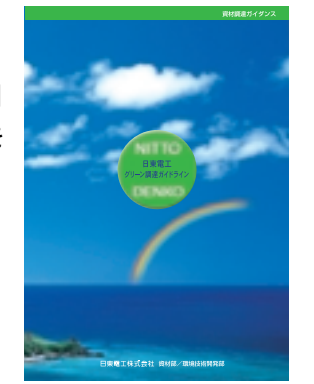
■原材料・製品・中間品化学品
安全性事前審査規程

■生産に使用する原材料の
安全性事前審査フロー

グリーン調達・グリーン購入

2001年度から資材等の調達における環境負荷軽減を目的に、独自のガイドラインに沿ったグリーン調達を開始します。適用資材は原材料から外注作業、一般事務用品なども含んでいます。これにとめない、納入業者評価制度の項目のひとつに環境配慮を追加します。

当ガイドラインの内容などは、
当社ホームページ
(<http://www.nitto.co.jp>)
にも掲載します。



■グリーン調達ガイドライン